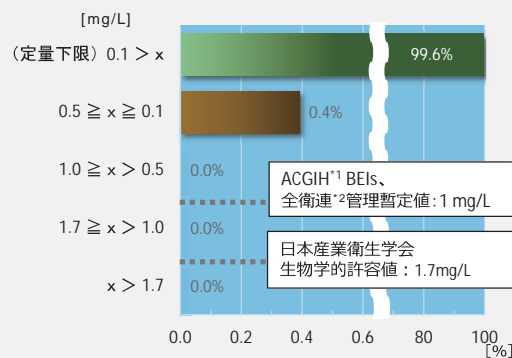


# ばく露管理を推進 尿中MIBK検査

令和2年7月1日から特定化学物質障害予防規則の一部が改正され、一次健診項目に（医師が必要と認める場合）尿中メチルイソブチルケトン（MIBK）の量の測定が追加されました。（厚生労働省労働基準局長 基発0304 第3号より）

当会では、法改正後すでに3,000件以上の検査を実施しております（2021.2未現在）。尿中のMIBKそのものを測定することで、どの程度体内にMIBKが取り込まれたのか（ばく露量）を推察することができ、**診断の判定や改善指導に大いに役立つ**だけでなく、ばく露量を把握・管理することは**職場の労働衛生水準向上につながります**。尿中MIBKに限らず、その他尿中VOCの検査についても承っております。

\*1 ACGIH（米国産業衛生専門家会議） \*2全衛連（全国労働衛生団体連合会）



尿中MIBK検出の濃度の割合  
(一財) 京都工場保健会衛生検査所調査による

「任せて安心！」  
4つの理由

## 精度管理

海外の外部精度管理事業に参加  
優秀な成績を得ています。

1

## 迅速な報告

所要日数  
通常7日以内  
所要日数実績  
平均2.4日

2

## 検査実績

法改正後すでに  
3,000件以上  
の検査実績  
(2021.2未現在)

3

## 資材準備

専用配送キット  
を準備しています  
発送にかかる手間を  
取らせません。

4

## 最新のお知らせ

# ポリプロピレン製遠沈管を導入します



お客様より多くのご要望を受け、この度尿中MIBKの採尿容器を従来のガラス製スクリーキャップ試験管（ガラス試験管）【写真左】に加えて、ポリプロピレン製遠沈管（ポリ試験管）【写真右】での採尿検体についても受託を開始しました。※ポリ試験管は尿中MIBKのみ使用可能であり、他VOC検査ではガラス試験管の使用が必須です。ポリ試験管を用いることで尿中MIBK量の減衰を懸念しておりましたが、当会における減衰試験の結果、有意な減衰は認められませんでした。ガラス試験管からポリ試験管に変更することで、**容器の割れ、破損の心配が軽減されることから、健診現場における負担等の軽減を見込んでおります。**

今後も採尿方法や採取容器等について積極的に検討し、より安全で精度の高い結果のご報告に努めて参ります。



# ご依頼の流れ

1



## 採尿

- 尿中半減期が短いため\*1、採尿はその日の**作業終了時**に実施してください。
- MIBKは揮発性物質のため、**容器内に空気が入らないように**、ガラス試験管またはポリ試験管に尿を入れて下さい\*2。
- 蓋は外れることのないよう、しっかり閉めてください。
- 検体は冷蔵（4～10℃）で保管してください。（冷凍厳禁）

\*1

50 ppm×2時間ばく露を受けた場合、尿中MIBK濃度はばく露終了後150分で約1/3にまで速やかに低下している研究結果が報告されています。（日本産業衛生学会 生物学的許容値の暫定値の提案理由 2007年度より）

\*2

液体の表面張力を利用し、尿が試験管から**溢れる寸前まで** ゆっくり入れ、空気が入らないように蓋を閉めます。



2



## ご依頼



検体採取後、必要事項を記入した検査依頼書（左QRコードにリンク）を同封し、速やかに当衛生検査所へお送りください。大手検査機関と連携しての回収も可能です。（応相談）

専用の梱包資材を準備しております。（段ボール、保冷用バック、各種試験管など）ご入用の際は事前にお申し付けください。



3



## 検査

ヘッドスペース GC/MS 法で分析しています。  
海外の外部精度管理事業 G EQUAS (German External Quality Assessment Scheme)に参加し、優秀な成績を得ています。

4



## 結果報告

所要日数：通常7日以内  
所要日数実績：平均2.4日（受付翌日を1日目）  
検査終了後、結果報告書を作成し郵送いたします。  
メール（暗号化ソフト使用）にて速報にも対応いたします。



075-823-2591

〒604 8472 京都市中京区西ノ京北壺井町67番地



一般財団法人 京都工場保健会衛生検査所

HPはこちら

